



ディベートの様子

活用場面

一斉学習
教師による教材の提示

個別学習

個に応じた学習
調査活動
思考を深める学習

協働学習

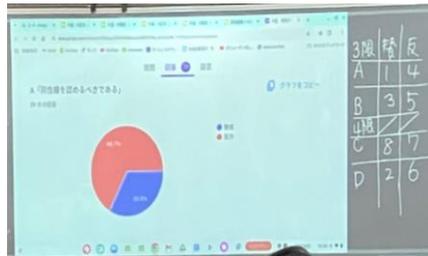
発表や話し合い
協働での意見整理
協働制作

活用した機器等

Chromebook
プロジェクター

活用したアプリ等

Google Classroom
Google スライド
Google Forms



投票結果発表の様子

学習のねらい

様々な社会課題について、賛成・反対両方の立場から考えることで、実社会で物事を多角的に捉え、判断する力を身に付ける。また、情報収集およびその信頼度を判断する力やコミュニケーションスキル、プレゼンテーションスキル、聴衆としての聞く力を身に付ける。

学習の流れ

導入	<p>ディベートの進め方とルールの説明を聞く。 以下の4つのテーマ テーマA「同性婚を認めるべきである。」 テーマB「父親は育児休業を取るべきである。」 テーマC「法律婚をする場合、現行法通り夫婦同姓が良い。」 テーマD「社会人になってから住む住宅は持ち家が良い。」 のうち、班に割り当てられたテーマについて、ディベートの実施日までの2~3週間を使って主張内容や予測できる反論や質問、回答、おおまかな方向性や結論、発表者などを班ごとに準備する。</p>	 見通しを持つ  共に考えを創り上げる  知識・技能を活用する
展開	<p>ルールの確認後、順にディベートを実施する。 ディベート終了後、聴衆の生徒はGoogleフォームで支持する班とその理由を投票する。</p>	 思考を表現に置き換える
まとめ	<p>結果発表後、自分たちの班の情報収集・分析や、スライドの作成、発表態度、対戦班や聴衆の様子について振り返り、身に付いたことや今後生かしたいことをまとめる。</p>	 振り返って次へつなげる

ここでICTを活用！

導入
ディベートでの提示資料を班で共働してGoogleスライドで作成した。

展開
共働して作成したGoogleスライドを用いてディベートを行った。
ディベート終了後に、生徒がGoogle Formsで投票を行った。

まとめ
振り返りの際に、投票結果・理由をその場で確認した。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

ディベートにおけるプレゼンテーション資料については班で1つのGoogleスライドを、共同編集機能を用いて作成した。授業時間のみならず、それ以外の時間なども使って準備することができる。
また、教員が準備中の資料をいつでも見ることができるので、準備の進捗を確認したり、授業時に生徒にアドバイスしたりすることができる。
Google Formsを活用した投票では、その場で投票結果や支持数、支持理由も表示できるので、教員の集計の省力化になるだけでなく、生徒は記憶の新しいうちに自身の取り組み方についての振り返りを記入することができる。
ディベートのための資料はその場ですぐに修正も可能であり、後日、閲覧のみ可能にしておくことで、当日の欠席者についても資料として振り返りの参考にすることができる。
情報収集の仕方(情報の精査)やデータの扱い(出典を明記するなど)に課題があったため、教科横断的に協力・指導する必要性を感じた。